

ヨタカ

Caprimulgus indicus jotaka

ヨタカ目 ヨタカ科

カテゴリー

大分県 IB

環境庁 掲載なし



低山から山地の明るい林，農耕地内の残存林などに夏鳥として生息し，薄暮から夜間に，口を開いて飛び回り，昆虫類を捕食する。日中は，木の枝に沿って腹を密着させるように止まって休息する。地上に直接卵を産むが，全身が枯葉模様の保護色であるため，わかりにくい。「キョッキョッキョッ……」とテンポの速い声で，夕暮れから朝方まで鳴くのが特徴。里山では夜行性の身近な鳥であったが，近年鳴き声を聞くことが少なくなった。農薬の空中散布，里山林の減少などの影響で生息数が激減している。

(写真：長谷部和宏 文：島岡 章)

県内分布 全県の平地から山地の疎林に生息する夏鳥。

分布域 北海道,本州,四国,九州で夏鳥。

中国全域,朝鮮半島で繁殖。東南アジアで越冬。